働く価値観は志望動機に影響を与えるか

渡辺 若菜 ・伊藤俊也　立命館アジア太平洋大学　言語教育センター

概要：就職活動の書類や面接で問われる様々な質問のなかで、学生としても指導する教員としても難しいものが志望動機である。志望動機では、なぜこの企業を選んだかということや、どのように貢献するのかを具体的に述べる必要がある。しかし「日本の大学を卒業したから日本で働かないともったいない」という程度の考えで就職活動を行う留学生にとっては「御社で働きたいから御社を志望します」以上の志望動機は考えられない。筆者は、自らの特性やキャリアプランと企業側の視点を反映した志望動機を書くためには働く価値観が影響しているのではないかと考えた。働く価値観とは、キャリア選択において、仕事に求める条件や実現したい目標である。そこで、本学の留学生を対象とした「キャリア日本語」受講生を対象として、授業の1週目、8週目、14週目の3回キャリアプランを問うた。そして11週目に「働くうえで自分にとって何が最も大切か」というキャリアアンカー注1を明確にさせるため、「39の価値観」注2のなかから3つの価値観を選ばせた。そして、それらを選んだ理由を200字程度で書かせる振り返りを行った後、志望する企業を選定させた。最後に300字程度で志望動機を作成させた。その結果、自己分析を深め、入社後どのように働いて企業や社会に貢献していくのかについて志望動機が語れるようになった学生や「自分をより詳しく分かることができ、自分に合う企業を探すことができた」という感想を持つ学生が現れた。また教員も、働く価値観をもとに志望動機を添削することにより、どのように書き直させるべきかの指標を得ることとなった。

表1　39の価値観

シゴト（仕事）	ヒト（人）	カイシャ（会社）
1.みんなの憧れる職業に就きたい	14.周囲から尊敬される存在になりたい	27.快適なオフィスで働きたい
2.自分で決められる「権限」の大きい仕事がしたい	15.一丸となって目標に向かう集団で働きたい	28.心から共感できる経営方針の会社で働きたい
3.社会的インパクトの大きい仕事がしたい	16.上司から認められたい	29.ヒトを育てることに力を入れている会社で働きたい
4.常に知識・技術を磨き続ける仕事がしたい	**17.自分の考えを率直に発言できる職場で働きたい**	**30.成果や能力が公平に評価される会社で働きたい**
5.数字や形となって成果がわかりやすい仕事がしたい	18.日常的に仕事に関する会話の多い職場で働きたい	31.将来の地位や役職が約束された組織で働きたい
6.大きな責任を感じる仕事がしたい	19.自分が周囲によい影響を与える存在でいたい	32.業績が安定している会社で働きたい
7.直接お客さんから感謝される仕事がしたい	**20.困ったときに助けてくれる先輩や仲間がいてほしい**	33.みんなの憧れる会社で働きたい
8.自分の作品として後世に残る仕事がしたい	**21.新しいことや難しいことにチャレンジする集団で働きた**い	34.気に入った勤務地で働きたい
9.世の中の役に立つ仕事がしたい	22.経験・知識豊富な仲間がいてほしい	35.今後伸びそうな会社で働きたい
10.進め方やペースを自分で自由に決められる仕事がしたい	23.不条理なことがなく、合理的な判断ができる集団で働きたい	36.会社から期待される存在でありたい
11.専門性を発揮できる仕事がしたい	**24.互いに協力し、足りないところを補い合う集団で働きたい**	37.会社の経営に参加してみたい
12.自分の興味・関心とマッチしている仕事がしたい	25.よい刺激が受けられる仲間と働きたい	38.チャンスを活かしてどんどん出世したい
13.創造性が発揮できる仕事がしたい	26.社内が注目する、重要なポジションに就きたい	39.高い給料で働きたい

Aさんが選んだ価値観と志望動機

4.常に知識・技術を磨き続ける仕事がしたい
「習うは一生」が、私が人生で貫きたい想いだから
9.世の中の役に立つ仕事がしたい
人は支え合って生きている、この世のために頑張らないといけない
28.心から共感できる経営方針の会社で働きたい
人生の半分以上を捧げるところだからそれによって人生が左右される

私は貴社の海外建設事業でインフラ整備を通じて、**国々の発展と人々の快適な暮らしに寄与したいです。**母国・台湾のように発展途上国では経済成長率が高い一方、大都市であっても整備が遅れている国は少なくありません。土壌洗浄技術を通じて、ベトナム政府と社会問題に取り組んでいるように、**貴社は独自の技術を多く持ち、質の高い施工技術で国際社会に貢献しています。**私はアルバイト先の居酒屋で食材ロスを減らすため、旬の限定メニューを作成することにより売上を5%伸ばしました。このように各国の現状を分析し、貴社が持つ高い技術を国々の発展へ応用する仕事を通じ貴社へ貢献したく応募しました。
（280字／建設会社）

Bさんが選んだ価値観と志望動機

3.社会的にインパクトの大きい仕事がしたい
国に道徳的責任を感じている、日本で何かを習って国の役にたちたい
12.自分の興味・関心とマッチしている仕事がしたい
長時間同じことばかりすると、やる気が出ないから
36.会社から期待される存在でありたい
様々な仕事を任されたい、会社を失望させたくない、自分を証明したい

大学を卒業しても勉強も止まってしまうことがないと思います。貴社では、社員に提供されるOJTやOFF-JTという教育プログラムを通じて勉強できる環境です。貴社にとって必要なグローバル企業は、違う価値観や文化を持っている人を理解し、粘り強く共感できる**私に合っている**と思います。しかも、世界旅行は人生の夢であり、様々な国にプロジェクトするのは大変だと思わずに楽しめます。問題があったら、環境のせいだと考えずに自主的に課題を向き合って自責の姿勢で仕事をするのは当然なことです。私は相手の立場で考え行動する人であり、この先の世に必要なことだと思います。加えて、専門家として市場で価値を持つと共に、ビジネスをやりたいという**難しい夢を持っていますが**、貴社ではこれが実施できます。私は**期待されるプロフェッショナルになりたく**、貴社へ希望しました。（358字／コンサルティング会社）

表2　Aさんのキャリアプランと指導の流れ　　「39の価値観」を用いた指導 → 志望企業の選択 → 志望動機の作成

キャリアプラン①　1週目	キャリアプラン②　8週目	キャリアプラン③　14週目
卒業後は日本で就職するつもりです。まだ業界や企業は絞っていませんが、**人の生活を豊かにする仕事**をしたいです。	卒業後は日本で就職するつもりです。第一志望の業界は今の段階は、商社、二番目は広告・マスコミ、三番目はコンサルティングになります。就活をしていく中、自分の就活としての軸は二つあります。一つ目は視野を広げることです。二つ目はアットホーム感の社風を持つ会社です。企業はまだ絞っていませんが、**人の生活を豊かにする仕事**をしたいと思っています。	私は**インフラ整備を通して、国々の発展と人々の快適な暮らしに寄与したいです。**具体的には、貴社の海外建設事業部で各地域のニーズを的確に反映する提案営業をしたいです。3年以内に建設の基礎知識を身に付け、一人で成果を出します。6年以内に自分が向いている領域を見つけ、その領域でスペシャリストになります。そして10年後は子ども2人を育てながら、スペシャリストとしてスキルを磨き、成果を出し続けます。15年後は副業で複合カフェを開業します。

結果と考察：「39の価値観」を用いて「働くうえで自分にとり、大切なものは何か」を考えさせ、志望動機を作成させた。この指導と並行して作成させた３回のキャリアプランを見ると、価値観の指導後に書かせた３回目のキャリアプランでは、自己の価値観を基に自分のキャリアプランを具体的に描く学生がいた。そのような学生は、キャリアプランに描いた「仕事で達成・貢献したいこと」「身につけたい知識やスキル」を志望する特定の企業で「何をしたいのか」「どう働きたいか」に置き換えることで、具体的な志望動機を述べることに成功している（学生A）。一方、自己の価値観をキャリアプラン作成に生かせない学生も少なからずおり、そのような学生の志望動機は、入社後何をしたいのかを具体的に述べることができないという特徴がある（学生B）。ここから、仕事にどのような価値観を求めるのかを明確にすることは、より良い志望動機の作成に役立つのではないかと考えるに至った。今後は引き続き、価値観を用いた指導効果の検証と、その効果的な指導法の確立に取り組みたい。

注1：キャリアアンカーとは、アメリカの組織心理学者エドガー・シャインによって提唱された概念。ある人物が自らのキャリアを選択する際に、どうしても犠牲にしたくない価値観や欲求のこと。
注2：株式会社リアセックが開発した自己分析カードのひとつ。会社選びの軸となる39の文が書かれている。